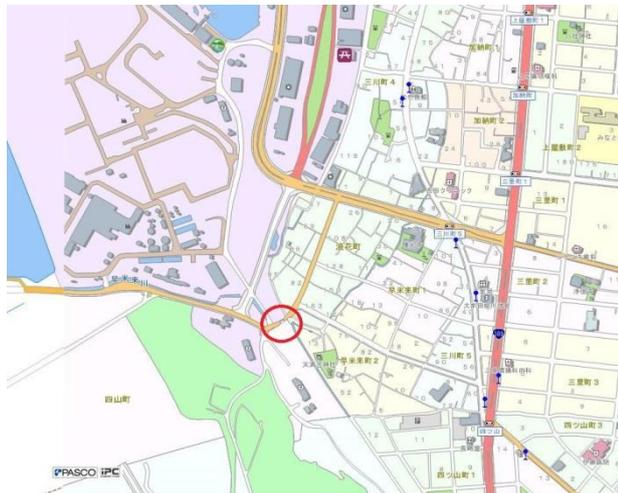


ぞうめきかどうきょう 早米来架道橋



- ・規 模 橋長L=7.15m、幅員W=5.00m
- ・建築年代 明治30～33年頃
- ・外観の特徴 橋台は煉瓦造（イギリス積）。上部工は鋼製。橋台の桁が乗る部分は荷重がかかるため石で補強しており、2路線分ある。市道をまったく橋であり、地域でも親しまれている跨道橋。現在、橋には配管が敷設されている。
- ・指定の理由 明治38（1905）年に三池港まで開通した専用鉄道は、途中、道路や河川を横断しながら敷設された。そのために建築された煉瓦造架道橋や橋梁は、現在もほぼ当時のまま残されており、今も地域の人々に利用されている。当時の専用鉄道の様子を理解するうえで貴重な施設である。
- ・所在地 大牟田市浪花町87番1地先



[👉 地図ナビにリンクしています](#)